

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005年2月28日作成)

委員会名	集住文化小委員会	主 査 名：伴丈正志
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：伊藤庸一
設 置 期 間	2002年 4月 ~ 2006年 3月	
設 置 目 的 各年度活動計画	日本を含むアジアの多くの民族が有している、自然環境と人間集団との共生を図る集住文化を計画論の視点から比較分析する。 日本、アジアの各地にてその土地の特性を活かした「集住の知恵」の公開研究交流会の開催(2002年?) 「集住の知恵?美しく住むかたち」の刊行 公開研究交流会の成果の出版	
委員構成 (委員名(所属))	伊藤庸一(日本工大)、岡田知子(西日本工大)、川窪広明(大手前大)、後藤隆太郎(佐賀大)、重村力(神戸大)、地井昭夫(広島国際大)、月館敏栄(八戸工大)、加藤宏之(国立音大)、工藤和美(明石高専)、黒野弘靖(新潟大)、住谷浩(北海道工大)、宋俊淑(日本工大)、坂上みつ子(日本電子専門学校)、伴丈正志(長崎総合科学大)	
設置WG (WG名:目的)	なし	
2004年度予算	165,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	小委員会開催：第1回(04年4月10日・8名)、第2回(04年6月19日・5名)、第3回(04年8月30日・5名)、第4回(05年2月25日・4名) 公開研究交流会開催：04年7月24・25日・18名、05年2月25日・19名 (成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)
得られた成果	2回の公開研究交流会の開催 7月24・25日「山に暮らす?集住の知恵9」をテーマに宮崎県諸塚村にて地元関係者の協力の下、研究会・見学会を実施し、同村のホームページにもこの様子が載せられた。また、2月25日には「東アジアの集住文化にみる共生のしくみ?空間概念と構成」を建築会館にて開催し、新しい方向性を打ち出した。 本の刊行 これまでの成果である「集住の知恵 美しく住むかたち」の刊行の準備が整い、技報堂出版社より出版の運びとなっている。 成果の公表 定期刊行物である学会誌・建築雑誌05.2月号に、今伝えたいトピックス「集住の地恵 循環型社会の原理を読み解く」をまとめ、本小委員会の活動を学会員に広く示すことができた。 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/nouson/s0/ (農村計画本委員会)
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) これまでの懸案事項であった本の出版の目処がたち、研究成果を広く社会に還元することができ、さらに、これを題材に05年度の大会研究集会開催の準備を進めている。また、公開研究交流会も合計9回と順調に回数を重ねてきており、今年度の目標はほぼ達成できたといえる。
その他評価すべき事項	公開研究交流会には、地元住民、若い学生の参加があった